

がん検診の流れ

「検診」は症状のない健康な人が対象です。

私は健康だと思います。

とくに今は自覚症状などはありません

がん検診（一次検診）

「異常なし」ひとまず安心

今後も定期的に
検診を受けましょう

「異常なし」「良性の病変」

今後も定期的な検診を
欠かさずに受けましょう

「異常あり」がんの可能性が
あるかもしれません

必ず 精密検査（二次検査）を
受けてください

精密検査（二次検査）
より詳しい検査を行い、本当に
がんがあるかを調べます

がんと診断（確定診断）

医療機関で治療へ

気になるところや自覚症状があります

● 受診すべき自覚症状

胃：胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなど

肺：血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなど

大腸：血便、腹痛、便の性状や回数の変化など

子宮頸：月経（生理）以外に出血がある、
閉経したのに出血がある、
月経が不規則など

乳：しこり、乳房のひきつれ、
乳頭から血性の液が出る、
乳頭の湿疹やただれなど



がん検診を待たずに直ちに医療機関を受診してください

がん検診は、症状がない人が行う検査のため、症状がある場合には
検診ではなく、必ず医療機関を受診し、診断のための適切な検査を
受診してください。

※定期的に検診を受診し、「異常あり」という結果を受け取った場合には、必ず精密検査を受けましょう。

※検診で「異常なし」と判定されても、その後、気になる症状が現れた場合には、次の検診を待たずに直ちに医療機関を受診しましょう。

積極的に市の健診をご利用ください！！次ページ以降、詳しい項目や日程等をご案内します。